

松岡キャンパス学生企画「山本敏晴氏講演会」

国際協力師 という仕事

ー ボランティアからプロへー

講演者 山本 敏晴氏 (NPO 法人宇宙船地球号代表)

福井大学では東アフリカから現地医師を受け入れ、また他大学と協力して「東アフリカ外傷医学国際教育協力センター」を設置するなど国際貢献に力を入れており、さらに学生の IFMSA 参加など、国境を越えた医療活動に興味を持つ学生が増えています。しかし一方で、その一歩が踏み出せない、何ができるのか、どうしたらいいのか、わからないことも多くあります。今回講演会を開催するにあたって、学内でアンケートをとった結果、山本敏晴先生の話を知りたいという声が多数寄せられました。医師として、そして「国際協力師」としてのお話をお伺いします。

平成25年

11/15 **金**

時間／18:30 - 20:00

対象／福井大学学生・教職員

松岡キャンパス〈臨床大講義室〉

(文京キャンパス総合図書館3階研修室・敦賀キャンパスTV会議により配信)

松岡キャンパス学生企画「山本敏晴氏講演会」

国際協力師

という仕事ーボランティアからプロへー

講演者 山本 敏晴氏 (NPO法人宇宙船地球号代表)

1965年宮城県仙台市出身。1978年南アフリカを訪れ人種差別に衝撃を受ける。中学校の頃から途上国を中心に数十か国を訪れ、一眼レフを片手に各地を撮影した。一方、途上国を来訪中、様々な国際協力団体の活動に触れ、その活動に大きな疑問を持つ。以後「本当に意味のある国際協力」について考え続ける。1990年東京慈恵会医科大学卒、医師免許取得。1996年医学博士取得。2000年よりさまざまな国際協力団体に所属、アフリカや中東で医療援助。2003年から2年間「国境なき医師団」日本理事。2004年NPO法人「宇宙船地球号」を創設。



平成25年

11/15 **金**

時間 / 18:30 - 20:00

対象 / 福井大学学生・教職員

松岡キャンパス〈臨床大講義室〉

(文京キャンパス総合図書館3階研修室・敦賀キャンパスTV会議により配信)